

## Global PBL on IoTs

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年02月25日 ～2024年03月05日	日本	ハノイ理科大学 FPT大学 フェニカ大学 明志科技大学 マレーシア・トゥン・フセイン・オン大学	・情報通信工学科、先進国際課程 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生18名、学生バイト5名、 教員10名 (ハノイ理科大学) 学生13名、教員2名 (FPT大学) 学生4名 (フェニカ大学) 学生5名、教員2名 (明志科技大学) 学生6名、教員1名 (マレーシア・トゥン・フセイン・オン大学) 学生6名、教員2名	PHAN XUAN TAN(先進国際課程) 上岡 英史(先進国際課程) TROVATO GABRIELE(先進国際課程) SRIPIAN PEERAYA(先進国際課程) CETINKAYA AHMET(先進国際課程) LAOHAKANGVALVIT T IPPORN(先進国際課程) AAMES JERICO JIM MY(先進国際課程) BUI NGOC TAM(先進国際課程)



### 開会式

2024年2月25日から3月5日まで芝浦工業大学豊洲キャンパスにて、芝浦工業大学工学部情報通信工学科イノベティブ・グローバル・プログラム主催のgPBL(グローバルPBL)が開催されました。SITと5つの提携大学から72名が参加しました。Hanoi University of Science & Technology、フェニカ大学、FPT大学(ベトナム)。Ming Chi University of Technology(台湾出身)。Tun Hussein Onn Malaysia(マレーシア出身)。

学生は8つのグループに分けられ、トピック(教育、農業など)がランダムに割り当てられました。各グループで学生たちはブレインストーミングを行い、既存の研究における社会的問題や技術的問題を発見し、提案の可能性について議論しました。そして、その提案をサポートするためのシステムを開発しました。最後に、彼らは成果を発表し、開発したシステムをデモンストレーションして実現可能性を示しました。

結論として、このgPBLは成功し、参加者は英語コミュニケーション能力を磨くとともに、目標を達成することができました。双方の学生からは肯定的なフィードバックが得られました。彼らは皆満足しており、このプログラムが来年も継続されることを願っています。



PBLセッション



PBLセッション



チュートリアルセッション



最終プレゼンテーション



閉会式